



と う み 東 御 市議会だより

Vol.7 2005 11/1



元気いっぱい運動会



黒煙を上げる登り窯(火のアートフェスティバル)



巨人太くんと遊ぶ(巨峰の王国まつり)

第3回定例会

第3回定例会…………… 2～4P
各常任委員会報告…………… 5～7P
海外視察研修報告…………… 8P

一般質問…………… 9～16P
議会のうごき…………… 17P
私の一言…………… 18P



9月定例会

16年度各会計決算を承認

合併に対する財政支援

3億7,000万円

東御市の第3回定例会は、9月6日から29日までの24日間行われ、平成16年度各会計決算および17年度各会計補正予算を可決したほか、請願、陳情などを審議しました。



土屋清治代表監査員

監査報告

合併初年度

健全性保たれた決算

得て、工業技術監査も実施しました。

事業内容、予算執行あるいは財産管理について、おおむね適切であり、所期の成果が上げられていました。

決算で一般会計につきましては、7億3,000万円の黒字、特別会計11のうち10の会計については黒字で、その合計は約2億3,000万円余で大変よかったわけですが、右表のように1会計だけは160

特別会計等の決算額

単位：万円

会計名	収入	支出
国民健康保険	25億226	23億4,771
老人保健	27億8,172	27億7,554
介護保険	18億5,014	18億714
地域改善地区住宅改修資金等貸付事業	2,344	3,947
地域特別賃貸住宅事業	681	681
公共下水道事業	12億5,238	12億3,460
特定環境保全公共下水道事業	1億3,270	1億3,179
農業集落排水事業	4億3,346	4億2,930
工業地域開発事業	0	0
公共用地取得	775	775
有線テレビ	6,401	5,630
診療所	1億5,325	1億5,325
企業会計	水道事業 収益的	7億1,196
	水道事業 資本的	1億1,586
	病院事業 収益的	11億3,550
	病院事業 資本的	0

0万円の赤字になりました。

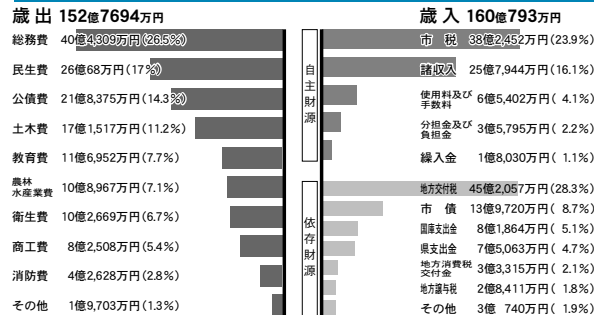
水道会計は、2つの町村の水道が一体化され、集中監視システムが整備され、水を安定的に供給する体制ができ、なおかつ黒字決算であったことは評価します。

病院会計は、昨年の決算監査でも大変赤字であり、再建計画を立てて議会でも承認して取り組んでいたいたわけですが、16年度も赤字でありました。

その中でやはり常勤医師の確保が一番の先決であります。

普通会計の実質収支額、単年度の収支額、それぞれ黒字であり、大変健全性が保たれたと認めます。

一般会計決算額



総括質疑

平成16年度東御市一般会計決算については、9月15日の本会議で総括質疑が行われ、その後各常任委員会へ付託されました。各委員会で三日間にわたり、詳細な説明を受ける共に予備審査を行い、さらに、13人の委員で構成された決算特別委員会が審議を重ねました。最終日の29日決算特別委員会委員長の報告があり、その後討論、採決が行われ、平成16年度東御市一般会計決算を認定致しました。

審議の主な内容をお知らせします。

問 市税の収納状況で差し押さえが299件と大変多いが。

総務部長 16年度督促状が2万1505件。差し押さえは地方税法で督促状発送10日後です。その間日曜日に納税相談を開き努力している。

問 専門学校誘致に関する補助金はいくらの検討の中で正式に決定するということがあったが。

総務部長 設備・備品関係合せて現在1億2200万円位になるかと見込んでいる。



完成間近な専門学校

問 人権同和教育の住民意識調査の回収率が43・4%と大変低い。地域の指導員の活用も考え、人権の問題意識を高める必要があるのではないか。

教育次長 日々努力してきたが、このような実態だった。今後さらに人権同和教育の内容に関心を持っていただけるよう努力したい。

問 職員駐車場は、どこにどの位の広さでいくつ借りているのか。土地開発公社から購入した遊休地の利用は。

総務部長 庁舎西側で284坪、月12万円です。東部高校裏の駐車場用地として購入した所は、今後検討していきたい。

問 平成16年度経常収支比率が85・2とあるが一般的判断基準からみて高い。押し上げた原因は。

総務部長 公債費の償還が今ピーク。19年以降段々少なくなり、正常な数値に落ちていくと考える。

一般会計決算に

賛成!!

反対!!

賛成討論

平成16年度、国においては三位一体改革が始まり補助金、負担金、地方交付税の見直しなど自治体にとっては厳しい財政運営を迫られた年である。合併初年度決算では合併特例債、合併補助金、合併特例交付金、地方交付税の特例措置など収入増となり、合併協議で協議された事項につき、順次事業展開されたことは高く評価する。平成16年度一般会計歳入決算額は160億793万円、歳出決算額は152億7694万円となる。実質収支6億1869万円の黒字決算となり、経常収支比率85・2%、公債費比率14・1%、起債制限比率は3年平均9・4%となる。事業実施に伴う国、県などの交付税措置の検討や補助金等の財源確保を積極的に行うなど多くの成果と努力が認められ、本決算に賛成するものであります。

反対討論

16年度決算は、実質収支約6億円の黒字となり評価できる。しかし、歳出をみると公債費が第3位の14・3%の約22億円である。合併で必要な事業は行うべきだが、特例債も約30%は借金である。将来的にも健全な財政運営が堅持されるよう研究、検討し、市民に歓迎される事業を行うべきで



9月6日から29日まで開会した9月定例会

ある。こうした意味で、農産物加工施設建設は、高い土地を買ったこと、建物に不備があったこと、加工品づくりも経営も大変であると聞く。一層の努力を望む。二つ目は専門学校誘致の推進で、一民間企業に1億200万円の補助金は出すべきではない。三つ目は同和対策で、多額の

税金を使って建設された西宮共同養豚施設を、また市民の血税を約1195万円使って解体したこと、解放同盟の624万円は多額であること、同和教育はやめるべきである。税の滞納は市民生活の苦しさの現われ、親切に相談にのって頂きたい。以上申し上げ反対討論とします。

決算審査報告



吉澤 武
決算特別委員長

市税の収納率は1%以上アップしたが財政の健全化や公平性の確保に一層の努力を

〔審議経過〕

合併一年目の予算執行のため、予算に不足をきたすものが例年に比べ多数発生し、予算流用、予備費充用件数が多くあった。現在2つのゴミ処理施設で処理されているが、今後のあり方について、総合的な見地から調査研究をする必要があるとの意見があった。

新しい交通システムの研究については、広く住民の声を聞き検討結果をその都度明らかにして、住民の理解が得られるようなシステムの構築をすべきとの意見があった。

なお原案を認定するにあたり、次の意見を付することとした。

1 厳しい経済情勢のもと市税をはじめ、使用料等、不納欠損額、収入未済額が多い決算であった。前年度比1%以上の収納率アップは評価に値するが、なお一層の回収の努力を望みたい。

2 人間の味覚は3歳までに決まると言われている。当市でも、保育園での好き嫌いを無くす努力や、健康教育課での子どもの料理教室などが行われているが、朝食をとらない子が増えるなど、親子、家庭の問題も出ている。

“食育”について、市の施策の中に位置付けをしつかり行ない、0歳から生涯系統的な対策をとることが必要である。

賛成討論

平成16年度決算につきましては、合併初年度の決算であり合併特例債、合併補助金、合併特例交付金の活用など多くの事業展開ができた年であります。北御牧地区においては、羽毛山住宅団地の改築、台風災害に対する素早い対応等があります。

また、市全体では救急車の2台体制、福祉事務所の設置に伴い身近に相談できることや、保健予防対策の充実、マレットゴルフ場の計画、合併関連記念事業による市民の一体感

人権擁護委員に再任

岡本 眞一 さん

議会は、乙女平の岡本眞一さんの人権擁護委員再任に同意しました。
任期は平成18年4月1日から3年間です。



平成16年度に建設した羽毛山住宅団地

の醸成など多くの取り組みがされました。
まだ解決すべき事項もありますが、総じて予算の執行が適切に行われており、市民の皆さんにもご理解いただける決算であったといえます。合併後10年間の補償はあるにしても、厳しい経済情勢や歳入増が望めない中で、計画的な行政運営に努めるとともに、市民の声を適切に把握し、市政に生かすとともに一体感の醸成が一日も早く達成出来ることを望み賛成討論といたします。

委員会報告

総務文教

アスベストの 状況を調査

本委員会は9月20・21・22日、平成16年度一般会計の所管課の決算予備審査と付託された改正条例案1件、2つの特別会計の決算審査ならびに5つの請願・陳情について審査を行い、21日の午後は現地調査を行った。



中間教室として改修される旧法務局

改正条例案は、水防法の改正に伴い東御市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正するもので、原案を可決すべきものという審査結果となった。

2つの特別会計（16年度東御市公共用地取得特別会計・同年度東御市有線テレビ特別会計）の決算審査も原案認定となった。

また、前から継続になっていた「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書」は、先の市議会で満場一致で採決された「地方六団体改革案の早期実現に関する意見書」の内容との整合性から不採択にすべきものという審査結果となった。さらに継続審査となっていた「教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める」陳情は、さらに慎重に審査をする必要から継続という審査結果となった。

また、本市議会でも新しく付託された、「高校改革に関する陳情」と「片羽公民館並びに新滋野公民館建設について」の陳情は継続となった。また、「永住外国人の地方参政権確立のための意見書採択を求める陳情」

視察報告

「市民協働の町へ」

ユウソウ

総務文教常任委員会では、左記の二市一町へ、7月6日～8日にかけて視察を行いました。

金ヶ崎町（岩手県 人口16万人）

金ヶ崎町職員より、伝統的建造物群保存地区（武家屋敷）の保存状況と白糸まちなみ交流館の利用状況の説明があり、その後、雨の中、武家屋敷を見学しました。ここは、海野宿のようにはまだ観光に重点を置いていない状況にありました。

北上市（岩手県 人口92万人）

北上市側から、市民協働による町づくり市民会議の状況、協働推進委

は、同趣旨の要望書が今から11年前の東部町議会・北御牧村議会で、それぞれ採択された経過もあり、新たな東御市議会としても採択すべきものという審査結果となった。なお、2つの特別会計決算については、格別の異議もなく、認定すべきものという審査となった。

現地調査はアスベスト問題に関して、称津小学校体育館、市の第二体育館、北御牧の学校給食センターの実態調査と市担当者より今後の対応について説明を受けた。さらに、田中の資料館の土器等の収蔵状況や中間教室として利用が予定されている旧法務局の建物の実情調査も行った。

さらに、かつて補助金を得て作られたそれぞれの地域のマレットゴルフ場の現状はどうかということや、不動産公園を訪れた。手入れも良く、約30名ばかりのみなさんが喜々としてプレーをされている様子を視察した。

白河市（福島県 人口47万人）

電子申請にいたるまでの経過、事業目的、課題、システムなどについて説明を受けました。まだ利用度は低いとのこと。民族資料館は、美術館にも活用していました。白河市は、芭蕉の存在が現在でも色濃く現れている感を強く受けました。

社会福祉

食育を施策の中に位置づけを

当委員会は、所管の各課の一般会計及び国保、介護保険、市民病院を含む特別会計6件、条例1件、陳情3件の審査を3日間にわたって実施した。

全体としては、備品購入、委託料、リース料等において、無駄のないよう配慮することの要望があった。住民課においては、クリーンセンターの大型改修が予定されているが、近隣の状況の変化を踏まえ、広域、川西保健衛生施設組合等の調整、調査、研究をするようにとの意見もあった。子育て支援課においては、各園の園長より「朝食を食べて来ない」「集中力がない」「好き嫌いがあがる」子らの話があり、それらの一つの要因として、食の大切さが話題になった。今後、市としても食育を施策の中に位置づけて欲しいとの声が多かった。

国保特別会計では、納税相談日を設けるなどして、収納に努力をし県下18市中2番目の収納率は評

価できる。しかし、本決算において1200万円余が不納欠損となっているので収納については一層の努力をさせたい。

介護保険特別会計については、介護予防に力を入れることも大事であるが、市全体として健康づくりに力を入れ、介護保険料の抑制につながることを期待する。

地域改善地区住宅改修資金等貸付事業の会計については、2500万円余の収入未済額があり本年から保証人まで責任を問うということだが、より一層収納の努力をとの意見があった。

市民の声を真摯に受けた対応を望む

市民病院会計については、市と病院が一体となり、医師確保に努力した結果危機的状況を乗り越えることができたことは評価するが、住民要望の多い整形外科医の確保に全力を尽くし医局の体制を整備されたい。そして、それにもまして、医師の対応等に対する市民の声を真摯に受けとめ日常の診療に生かし、市民が安心して診療を受けられる「市民病院」の構築に一致団結して取り組む事を望みます。

視察報告

健康づくりは市民と協働で

角田市（宮城県 人口33万人）

当市でも「健康づくり計画」が策定されます。そこで宮城県角田市の「ここに健康プラン」の視察をしました。

健康づくりについて、ダイジェスト版で市民に知らせていますが、絵グラフ、数値で見易くし、現状、重点項目、目標値を決めている点と、サポーターを養成し市民と協働の取り組みが参考になりました。

横手市（秋田県 人口40万人）

秋田県横手市では「健康の駅」づくりを視察しました。身近な公民館で健康づくりを、ボランティアの駅長を中心に、サポーターを募集し、無償で協力してもらっていました。市民には出前講座で説明し、健康づくり推進室を新設し、地域の支えでやるという意気込みが解りました。

市民病院の健全経営のあり方は

公立横手病院は自治体立優良病院として受賞したので視察しました。薬価差益20%目標、材料、機器の価格交渉の徹底、人件費の削減、在庫品の適正化、やる気のある人の大切

産業建設

下水道使用料の一元化

当委員会は、所管の5課の一般会計決算の予備審査と特別会計、企業会計について審査を実施した。

市内には5つの水道事業があり、それぞれの水道事業会計ごとに水道料金が異なるため、料金を統一し安くすることができないかという意見について、小諸市、佐久市との調整や料金徴収の方法も異なるため難しいとのことであるが、今後の課題として検討された。

また、社会問題となっているアスベストによる健康被害を防ぐため現在布設されている水道の石綿管については早急に布設替えを行うべきとの意見を付した。

下水道関係では、公共下水道と農業集落排水事業の使用料の一元化については、審議会で見直しを検討された。水洗化率を上げるための努力と宅内配管に対する融資、利子補給制度についてもっと住民に周知すべきであるとの意見が出された。

市内には10か所の都市公園がありその殆んどが田中地区にあるため、全くない地区にも建設すべきで



ひょう害後のりんごの状況調査

あるとの意見に対し、北御牧地区の都市計画が決定された後、総合的に検討したいとのことであった。また県道望月線の常田地区、切久保、畦田間や本海野バイパス先線の道路改良について議論した。

温泉施設の誘客対策を

ゆうふる田中は開館以来赤字続きであり、また明神館は利用客が減少しているため、その誘客対策については温泉利用検討委員会で検討中とのことであるが早急に有効な対策を樹立されたい。

みずほ温泉については、ガス対策用の大型ポンプに入れ替えを行い、湯量の確保に努めたため、今後10年

視察報告

舞鶴市の花と緑の公社について

舞鶴市（京都府 人口93万人）

6月29日は、「舞鶴市花と緑の公社」について視察を行いました。この公社は、公園緑地及び民有地の緑化を促進し、その保全をはかると共に、豊かな文化と緑に彩られた、美しい町づくりを推進し、快適な生活環境づくりを目的に、平成13年4月に設立されました。

食文化から始まる地域個性の創出

小浜市（福井県 人口33万人）

「御食国若狭おばま」

小浜市は、飛鳥奈良の時代に朝廷に食を供給していた御食とよばれた地域であり、市ではこうした歴史的背景をもとに「食のまちづくり」を推進しています。平成13年9月には、全国に先がけて、食

さ、患者の声のありがたさ、健全化計画を全職員で取り組む等々多くのことが研ぎできました。

ごみの減量化の取り組みは

新庄市（山形県 人口4.1万人）

山形県新庄市はバイオマスタウン構想があり、バイオマス堆肥でソルガムを栽培し、エタノールを搾り、ガソリンと混ぜて、車を走らせる視察をしました。また研究段階でした。食品トレーの再生も視察しました。福祉団体と企業が協力して行っていました。ごみ減量の一つの方法とし大変良い視察でした。

※ソルガムとは、糖分の高いイネ科の食物



たんぼば作業所でのトレー選別作業

いところもあり、不均衡であるとの意見があり議論した。また6月のひょう害のその後の状況について現地調査を実施したが、巨峰についてはある程度回復しているが、リンゴは殆んど二級品以下のものであった。

のまちづくり条例を制定し、特に食育に関しては重要な分野として条例に位置づけています。

新しい公共交通システム

名張市（三重県 人口8.5万人）

名張市では、地域コミュニティバスの導入について研修を行いました。

急激な人口増を経験した名張市は、起伏のある地形と分散型の都市構造などで、交通不便者への移動手段を確保するためにコミュニティバスの導入を決定し、交通空白地域と市街地循環型のコミュニティバスが検討され、本年10月の本格運行に向けて試験運行されているということです。

この違った型のコミュニティバスの運行は興味を持ちました。今後路線バスの存続とコミュニティバスをどう運行するか課題もあると言われていました。

議会と行政がともに力を合わせた
「協働のまちづくり」で気を配った施策を

カナダ・アメリカ 平成17年7月10日～17日の8日間

柳沢 旨賢議員・三 縄 雅枝議員



自然環境に力を入れているヴィクトリア市内

北信越市長会主催による海外視察団の一員として、7月10日から17日までの8日間、カナダのヴィクトリア地域、ウエストバンクーバー市、アメリカのサニーベイル市、パークレイ市、バサディナ市を視察訪問した。

- ①ドックサイト(波止場)
- ②レールロード(鉄道)
- ③ウォーターフロント(海辺)
- ④コックベイサイト(工業地帯)

また、15地区36万人の広域でのゴミ処理状況についても説明を受けたが、リサイクルできるものの他は全て埋め立てている。ゴミ処理については日本が先進的という印象を受けた。

市として環境保護対策に非常に力を入れ、そのことを常に住民にも教育をすることで徹底している。また地域の再生についても長期展望で計画的に財源を投入するという市の取り組みに感動した。他にもハンギングバスケットは世界的に有名で、日本でも花博の前には指導を受けたそうです。

カナダヴィクトリア市

自然環境保護対策

視察第一日はヴィクトリア島へ船で渡り、市役所にて「自然環境保護対策」についての話を聞いた。この事業を推進するために環境府があり、住民の生活の盾を守り、環境の保護と維持を主な仕事としている。環境府には4つのプロジェクトがあり、それぞれのエリアをいかにして再生、活性化をしていくかを多方面から50年～100年のスパンで検討し実施をしている。

ウエストバンクーバー市

環境行政について

ここは環境主導型の基準・環境に配慮したきめ細かな対策が高く評価されている所である。議会は市の条例に従って選出された市長及び6名の議員で構成され、市民との重要なスポンサーマンの役割を担っている。日本と



ウエストバンクーバー市 議会場で議長と

は根本的にシステムが違うが、議会と行政官がともに力を合せ、いわゆる協働のまちづくりが行われている。このことは大きな事業から、住民の生活のすみずみまで気を配った施策によって実感できた。

1970年から
行政評価制度を実施

アメリカ、サニーベイル市行政評価制度ですが、当市は1970年後半から行政評価制度を導入して、労働生産性の向上や、行政サービスコスト削減に顕著な進展を見せています。特に最近の10年間で労働生産性44%向上、コストの38%削減を達成し、行政サービスの水準を維持し



サニーベイル市役所前にて

この制度は現在アメリカのほとんどの市で取り入れています。マネージャーは結果によりボーナスが大きく増減すると共に、時には更迭もありえます。アメリカと日本では行政制度自体に大きな違いがありますが、この度の体験を生かし将来に対応できる行政のあり方を提言していきたいと思っています。

本定例会の一般質問は、9月13・14日の2日間にあたり、13人の議員が33項目について質問しました。要約してお知らせします。

一般質問



小山義明 議員

問 アスベスト対策について

答 アスベスト使用場所には対策をとる

問 市の公的建物のアスベスト調査をしたか。

総務部長 7月下旬から57か所を調査した。5施設6か所にアスベストが使用されており、それぞれ対策を講じた。

問 区公民館、各部消防庫、集会所の調査は。

総務部長 消防庫は消防署で調査した。公民館などは区にお願いした。

問 個人住宅、事業所の状況は。

総務部長 それぞれ個人で行ってもらいたい。市としては相談窓口を開

設した。個人調査補助は、1/2以内1万5000円まで補助したい。

金原川、西川の

河川改修について

産業建設部長 金原川は、平成16年に本線工事を行うと決めたので数年かかるがやっていく。西川については、今年設計して18年以後工事を行う。

競輪場外車券売場について

総務部長 東町区にはそのような動



石川好一 議員

問 アスベスト対策は

答 実態調査のうえで対応を

総務部長 駅については、具体的にないが必要性等について調査したい。

産業建設部長 バイパスは、7m道路で西海野区と地権者の同意と協力を得て大屋口までやりたい。大屋の同意も得たい。

※農業振興策についても質問した。

きがあるが詳細については知らない。市としての可否は総合的に考えて判断したい。

「海野宿バイパス」「海野宿駅」について



改修が予定されている金原川(国道18号線と金原川が交差する白鳥台)

問 健康被害が憂慮されるアスベスト材(第二次製品も含む)使用の市の施設の実態と、それに対する対応策をどう考えているのか。

は5施設で6か所から法に定められた許容量内ではあるが検出された。緊急を要する施設については、除去工事等に細心の意を配りながら、本年から18年度にかけて着手したい。

たまま5年間で14%の減税を実施するなど、すばらしい成果を挙げている市です。

全米初のシティ・マネージャー制で積極的推進

アメリカ、パークレイ市は「シティ・マネージャー制、議会支配人制」を全米で初めて取り入れた市であり、福祉や身体障害者保護も積極的に推進しています。

議員は8名で8選挙区から1名ずつ選出されます。市長は市全体の中から選出され9人目の議員となり、議長も兼任します。議会は条例・政策等を討議決定すると共に、シティ・マネージャーを任命します。マネージャーは年間予算を決定し条例を施行して任務を遂行します。

この制度は現在アメリカのほとんどの市で取り入れています。マネージャーは結果によりボーナスが大きく増減すると共に、時には更迭もありえます。

アメリカと日本では行政制度自体に大きな違いがありますが、この度の体験を生かし将来に対応できる行政のあり方を提言していきたいと思っています。

また、一般住宅等に対する被害防止策としては、アスベストに関する相談窓口を市民課に開設し、対応したい。なお、個人・事業所を問わずアスベスト検査の費用の1/2（上限あり）の補助をする。

市民病院について

問 市民病院の医師確保と病院運営について、市独自による医師育成のための奨学・育英制度や、介護保険における療養型の床数の導入は考えられないものか。

病院事務長

医師確保については、とくに配意し危機的状況は乗り越え、最低限の診療体制を組める状態となった。今後も医師確保に努力をする必要がありますが、奨学・育英



急性性病床に充られる病室（市民病院）

制度は県においては実施しているが、市あるいは一病院としての実施には難しいところがあります。なお、療養型ベッドの導入は条件的にも問題があるので、急性性病床（急性期を脱した患者を診る病床）の導入を2部屋、8床に充てる検討を進めている。

学力問題について

問 市内児童・生徒の学力検査（小



吉澤 武 議員

問 流通団地に「競輪場外車券売場」という動きについて市長の考えは

答 誘致を進めることは考えていない

6・中学全学年実施の結果はどうか。

教育委員長 領域により多少の高低差はあるが総体的に全国並みといえる。この検査によって明らかになった課題については、弱点克服の意欲づけの指導で迫りたい。

なお、ほかに青少年の健全育成のための環境浄化推進について質問をした。

アスベストが問題になっているが、（株）和田による処分場の水質は、

問 遠い存在と思われてきたアスベストによる健康被害が、工場で働いてきた人に限らず、身近な問題であることがはつきりしてきた。

監査委員から意見書で「水道管のアスベストがまだ残っている」と、指摘されているが、どれだけあり、いつまでに回収するのか具体的に、84年より操業していた（株）和田による聖の産業廃棄物処分場には、県下



アスベストも埋められている聖の処分場

から持込まれたアスベストが、わかつていただけで97か所、603.3㎡ある。もともと安定5品目を埋めるということだったが、いろいろ問題があり滋野地区の住民が一番心配しているのは深井戸の汚染である。水質検査の結果はどうなっているか。

産業建設部長 現在石綿管が使われているのは、東部地区で5.3km、八重原簡易水道で0.1km、御牧ヶ原水道で2.0kmとなっている。早急にとっても、予算等の絡みがあり、おおむね5年以内には全部敷設替えと考えている。

民生福祉部長 水質検査は、県と市が独自に毎年行っており、異常が無い状況である。



鶴田武夫 議員

問 東御市民まつりの一体化について

答 一体感を感じた祭りであつた

問 本年度の市民まつりは、市側として成功したか、また反省点はあったか。

市長 これからの新市まちづくりは、協働のまちづくりを柱に、市民が一体となって元気を全国に発信することができると都市を目指している。こうした中で、第一回目の東御

ことなどの反省点は、残った。

問 田中商店街の街路事業が18年度には完成し、活性化をはろうとしているが来年の市民まつり、まちづくりをどのように考えているか。

市長 祭り開催場所である田中商店街の田中牧家線街路事業が平成18年度完成予定であり、来年度は田



荻原利幸 議員

問 東御市の自然災害時の対策は

答 地域防災計画に基づき震災、風水害の災害対応を進めている

問 情報の伝達が全戸に速やかに伝わる方法が早く整備できないか。

総務部長 情報の一元化について専門家に検討をいただき、災害時には市内全域に同一情報を同時に伝達する必要がある。緊急時には無線での伝達を考えていく必要があり、できるところから早急に実施していく。

問 避難所の各公民館は安全か。

総務部長 昭和56年以前に建築した公民館は23館あり、耐震診断が必要である。

問 市内の一級河川16河川全延長97kmの未改修部分とその対策は。

産業建設部長 整備を必要とする区間は58.9kmで整備済みの区間は12.4kmで21.1%である。

過去に洪水による災害が発生した河川、発生の危険度が高い河川、また、想定される被害の大きな河川として求女川、西沢川、金原川を優先的に整備する計画である。

問 地滑り地区や、崖の崩落の危険箇所の表示とその対策は。

産業建設部長 東御市地域防災計画の中で、市内の危険箇所は、地滑り危険箇所が13、急傾斜崩落危険箇所33、土石流危険箇所18となっている。土砂災害防止法により危険箇所



一体感を感じた第一回市民まつり

を必要に応じて土砂災害警戒区域や特別警戒区域が指定され、規制や表示がされていく。

問 外来帰化植物対策について

産業建設部長 市の環境を保全する観点からも、市民の皆さんにアレチウリ等が及ぼす影響や効果的な駆除方法について情報を提供して駆除を呼びかけていく。

他に横堰地の貯水問題、ニセアカシア、アメシロ等の対策を質問し、それぞれに前向きな回答を得た。



石和 大 議員

問 行財政改革推進の考え方はどうか

答 行財政のスリム化をはかる

問 行財政改革の考えは。

総務部長 総務省の指針を踏まえ、行政改革大綱の策定に向けて調査、検討している。財政については、人件費、公債費、補助費、補助負担金等の経常経費の削減に努め、行財政のスリム化をはかる。

総務部長 なるべく経費の削減を図り、余剰財源についてなるべく基金に積みたい。

問 人件費、職員を増やさずサービ



市内各地で繁茂しているアレチウリ

子どもが育つ環境整備について

問 子どもが育つ環境整備は

教育次長 通学路の危険箇所等は、逐次改善に努めている。子どもの遊び場について青少年広場の整備事業を行っている。子どもが伸び伸び成長する環境を目指す。

子どものメディア接触の実態把握は

問 夜10時以後までテレビを見ている児童が1年生でも20%、3年生で30%、6年生では60%と大変多く、次の日の生活に悪影響を与えていると思う。改善の施策は。

教育長 この問題は、家庭が一番中心的な役割を果たすべきと考える。それに行政も連携、協力する。



公共施設のパソコンで遊ぶ子どもたち

ないか。

問 ある一日を定めて、家じゅうでテレビを見ない「ノーテレビデー」という取り組みをしたらどうか。

教育長 行政単独でなくて、家庭、学校、地域、青少年育成団体等へ呼びかけて協力していただき、実現する方向で努力したい。



清水新一 議員

問 農業施策と振興について

答 市民がつくり市民が実行する市民のための条例になること

問 農業基本条例が本年実施に移され、東御市における農村と農業の振興に関する具体的な事項を定め、

自然環境や景観を維持保全しながら、基盤産業の一つである農業の発展をはかり住民の合意と参加によ

る地域づくりの推進ということ、策定にあたり重要と考えた内容は。

産業建設部長 市民がつくり、市民が実行する、市民のためと、地域づくり、そして外に呼びかける条例となるよう考えた。この条例を広く知っていただき、関連施設に多くの市民の協力が得られることが重要であると考えている。

問 中山間地域農業支払事業について、5年間の成果と問題点について、また継続されることになつての重点的な考え方は。

産業建設部長 この制度により農用地で集落協定を締結し、集落単位での協定に基づく協働取り組みにより、耕作放棄地の発生防止、多面的



舩田貴久夫 議員

問 県高校改革プランによる地元高校への対応について

答 平成15年に東部町として東部高校コース制設立に補助、東御市でも支援をしていく

問 今、長野県では県高校改革プランについての検討を急いでいる。我が東御市に唯一ある東部高校を地元市長としてどのような考えを持っているか。

教育長 東部高校としてコース制がスタートしコース制に力を入れ地元東御市との関係を深め充実してきている。平成15年に東部町としてコース制設立に際し施設設備等で補助をした。今後も支援をしていく。

市長 地元東部高校の支援を望む、について和田校長先生の時に500万円を旧東部町で支援した。今度の

土屋校長先生も非常に熱心な方で、地元東部高校がますます発展することを望み、これからいろいろな意味で支援をしたい。

堆肥活用地方増強事業の推進について

問 地元畜産農家の皆さんと連携をとり農協とタイアップをし補助をして事業が進められているが堆肥利用がどの程度実施されているか、また生ゴミ循環型処理の状況はどうか。

産業建設部長 平成16年度の実績



東部高校生(スポーツコース)とふれあう園児



町田千秋 議員

問 海野バイパス全面開通と海野宿新駅の早期実現を

答 バイパス計画や、新駅へのアクセスなど総合的に検討し判断する

問 海野宿駅は、しなの鉄道が再生計画の中で平成20年までに建設すると発表された。地区活性化懇談会でも要望があり、また本海野区外の周辺地区からも要望の声がある。これに対し市長の考えは。

市長 地元本海野区の他近隣地域や観光関係者からも要望が強いことから利用状況を把握するための需要調査を実施する。

問 海野バイパスは浄化センターの所で止まっている。先線については西海野の協力がなければ進まない。もつと積極的に理解を得る努力をするべきではないか。西海野区からバイパスは必要ないとの意見もある。どうしても理解が得られなければ丸子町塩川へ通す方法も考えられるが来年マレット場の開設に伴い交通量が更に増大すると考えられる。早期全面開通の方策は。



早期全線開通が待たれる海野バイパス(前方は大屋方面)

アスベスト問題について

問 アスベスト「石綿」によって健康被害が大きな社会問題となつてい

問 公共施設における電気料は莫大なものである。現在使われている照明器具をエコタイプのもにすることで、消費電力、電気代、CO₂の排出量が約0.8%削減できる。市財政が厳しい中、無駄をなくす。また、環境負荷を軽減する意味からも、エコタイプのものに変えてはどうか？

民生福祉部長 省エネタイプの導入は、より効果的な環境負荷削減になり、何よりも市民の方々や事業者等への大きな影響も期待できるので、費用対効果を検証しながら



第一体育館の喫煙場所

検討して参りたい。

喫煙場所について

問 市役所ロビー中央に設置してある喫煙所、また、青少年が多く集まる健康施設である体育館入口にある喫煙所は別の場所へ移すべきと考え

総務部長 市役所ロビーについては来客

者に一番近い所であり、分煙器も入れ完全な分煙装置を施してある。体育館については禁煙ができるかどうか検討して参りたい。

子ども議会開催について

問 国民の政治離れが言われ久しい中、小さいうちから政治を体験する

ことはよいことと考え、子ども議会を開催してはと考えるが。

市長 子どもたちが政治に関心を持つてもらうためには身近な議会政治を学ぶことは非常によいことと考え、こうした教育も機会を捉え常に行うことが必要と考える。今後関係部署においてさまざまな角度から検討していききたい。



山岸淳子 議員

問 高齢者の生きがい支援と社会参加の促進を

答 高齢者の未来塾を前向きに検討していききたい

問 高齢化が急速に進む中、新たに介護予防が重視された。市では、どんな取り組みを考えているか。

市長 生きがいデイサービスの充実をはかるとともに転倒骨折予防と認知症予防事業の二つを柱に進めたい。なお、「自らの健康は自ら守る」という意識のもと、介護予防教室が各区で継続できるよう協力していききたい。

問 高齢者センター「くらか

る。市は相談窓口を設けたが内容の充実した信頼できる対策室を設置する考えはないか。

会議を設置したところです。総合的な相談窓口は市民課、生活環境係で行い、今後の相談状況等結果を見ながら対策室については考えていききたい。



三縄雅枝 議員

問 公共施設の照明器具をエコタイプに変更して、電力料金とエネルギー削減をしようか

答 経費の削減等の関係からもあるべくできるような形で検討したい

問 高齢者の就業支援、特にシルバー人材センターの支援について

問 活発な活動の原動力となる「高齢者の未来塾」の設立について



依田政雄 議員

問 成年後見制度利用支援事業の導入について

答 高齢者の安全な生活を権利面で支援する、その必要性は高まっていると市でも認識している

問 高齢者を狙った悪質商法が頻発しており、成年後見制度の必要性はますます高まっている。成年後見制度の市の認識と事業導入についての考えは。

市長 これまで市においては、事業の対象となる相談事例はありませんでした。今後、認知症の高齢者の

増加、高齢者を対象にした悪徳商法の増加など、高齢者の安全な生活を権利面で支援する必要性は高まっていると市でも認識している。

肺炎球菌ワクチン接種に助成を

問 高齢者で肺炎にかかった人の半

数近くは、その原因菌が肺炎球菌となっておりこれにはワクチンが有効といわれているが接種に7000、8000円かかる。市として助成してはどうか。

民生福祉部長 現在のところ肺炎球菌ワクチンは法定外の予防接種であり助成は行えないと考えているが国の研究会に出された提案があるので推移を見守りながら対処したいと考えている。

公益通報者保護制度について

問 公益通報者保護法が成立し地方公共団体でも職員等公益通報条例を施行する機運が高まっているが市の見解をお聞かせします。

総務部長 他市町村の動向等を踏

まえながら検討を進めるとともに、研修等を深める中で法令遵守について職員の意識を高め、より市民の信頼を得られるよう行政運営に努めたいと考えている。



健康のために、健診は欠かせない

ト、相談会、栄養調査等からです。課題は妊娠期からの健康づくり、若い年代の健診受診率の低さ、認知症、生活リズム、食生活の乱れ、運動不足等がある。第一次予防に重点を置き、各団体と連携し、市民一人ひとりが主体的に取り組む支援をしたい。

介護保険改正の影響は

問 要介護区分の変更

で、従来のサービスが受けられなくなるのか。介護3施設の居住費、会費が全額自己負担となるが、額はどのようになるのか。

民生福祉部長 約360人が新予防給付となるが、従来のサービスは受けられる。自己負担は、特養、多床室、要介護5で約2万5000円の増で8万1000円となる。ただし上限額が設定されているので、低所得者の負担は、ほとんど変わらない。

精神障害者への支援施策は



保健師による栄養指導

問 精神障害者の実態はどうか、どんな支援をされているのか。精神障害者を受け入れる地域づくりは。

民生福祉部長 精神保健福祉手帳の所持者95名、通院医療費公費負担の受給者211名。ホームヘルプサービス、ショートステイ、相談、デイケア等で支援している。地域づくりは、障害者計画を策定するので、関係者の意見を計画に取り入れていきたい。



山崎美喜子 議員

問 東御市らしい「健康づくり計画」を

答 市民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくりを支援

問 東御市らしい健康づくり計画は、市民の生活・健康実態をつかむことが大切だが、どんな調査をされ

たのか、課題は何か、推進体制は。

民生福祉部長 実態把握は、健診、国保レセプト、死亡統計、アンケート

請願・陳情

◆「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書

▽請願者 東御市教職員組合

▽紹介者 山崎美喜子議員

▽審議結果 不採択

◆教育基本法の改定でなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情

▽陳情者 新日本婦人の会東御支部

▽審議結果 継続

◆拙速に結論を出さず、県民合意の高校教育改革を求める意見書の採択を求める陳情書

▽陳情者 長野県高等学校教職員組合

▽審議結果 継続

◆片羽公民館並びに新、滋野公民館建設について陳情書

▽陳情者 片羽区長・片羽公民館建設準備委員会

▽審議結果 継続

◆永住外国人の地方参政権確立のための意見書採択を求める要望書

▽陳情者 在日本大韓民国民団長野県東信支部

▽審議結果 採択

◆無年金定住外国人救済のための特別給付金増額に関する要望書

▽陳情者 在日本大韓民国民団長野県東信支部

▽審議結果 継続

◆アスベスト対策を求める意見書の採択を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果 採択

◆乳幼児医療費の現物給付（窓口無料化）の実施を求める陳情書

▽陳情者 新日本婦人の会東御支部

▽審議結果 継続

議会のうごき

8月	1日	宮入法廣刀匠後援会役員会
	2日	栃木県南那須町議会視察来庁
	3日	静岡県島田市議会視察来庁
	5日	上田バイパス東京陳情
	6日	東御市民まつり
		軽井沢国際親善交歓会
	7日	東御市民まつり花火大会
	8日	議会運営委員会
	9日～10日	上田広域連合議会行政視察
	11日	上田バイパス事業化促進委員会
	14日	北御牧地区夏まつり
	15日	成人式
	20日	県下18市職員球技大会
	22日	東部湯の丸IC関連道路網整備促進期同盟会定期総会及び長野県陳情
		上信自動車道整備促進期同盟会長野県陳情
	25日	議会運営委員会
	26日	長野県市議会議長会陳情（県知事、県議会議長）
	27日	東御市民号納涼会
	28日	東御市カラオケ発表会
		佐久市合併記念式典
	29日	東御市民ゴルフ表彰式
		佐久市望月外一市水道事業団議会定例会
	30日	真田町外二市共有財産組合
9月	1日	川西保健衛生施設組合定例会
	2日	第54回県社会福祉大会
	5日	東御市土地開発公社役員会
	6日	平成17年第3回定例会開会
	8日	全員協議会
	9日	社会福祉協議会理事会
	10日	上田広域連合代表者会
		東京・東御市の会
		子育てフェスティバル
	13日	平成17年第3回定例会一般質問
	14日	平成17年第3回定例会一般質問
	15日	平成17年第3回定例会総括質疑
	16日	各常任委員会行政視察報告会
		長門町閉町式典

17日	巨峰の王国まつり開園式 大田区との交歓会
20日～22日	平成17年第3回定例会常任委員会
22日	和田村開村式典
24日	運動会（田中・滋野・和・北御牧小学校）
25日	北御牧地区敬老会 赤峰勝人氏講演会
26日	平成17年第3回定例会決算特別委員会
27日	正副委員長会議
28日	武石村・長門町中学組合開校50周年記念式典 金婚祝賀式
29日	平成17年第3回定例会閉会 全員協議会
30日	上田バイパス建設促進要望 （長野国道工事事務所） 議会だより編集会議 市民まつり反省会
1日	運動会 （田中・滋野・和・西部・中央・御牧原保育園） 運動会（祇津小学校）
2日	第2回総合体育大会
3日	ケアポートみまき運営委員会 福井県あわら市議会視察来庁
5日	部落解放人権政策確立市町村懇談会
7日	みまき福祉会理事会
8日	運動会（祇津・東保育園）
8日～9日	火のアートフェスティバル
11日	議会だより編集会議 立科町・小諸市・東御市議会議員交流会
13日	上田広域連合代表者会
14日	上田創造館運営会議
15日	運動会（海野保育園） 東信5市議会議員交流会
17日	茨城県那珂市議会視察来庁
24日	真田町外二市共有財産組合議会
25日	立科町50周年記念式典
26日	上田広域連合議会
27日	各種団体球技大会 新潟県刈羽市議会視察来庁
28日	上田広域連合議会

私の一言

健やかに育つ地域の子どもたちのために



神津 忠吉さん(新張)

9月13日に行われた東御市議会9月定例会の一般質問を、祢津地区の民生児童委員6名で傍聴しました。

今、社会問題になっているアスベスト問題では、子ども達や住民の安心、安全を確保するためにも早い対応を聞きたいということ、祢津地区の流通団地付近に競輪の場外車券売場を誘致している問題では、青少年の健全育成上からも好ましくないということで、成り行きを見守りたいとの思いから、これらの問題に対して一般質問がされるとのことで、確認も兼ねて傍聴しました。議員の方々は、質問に対して資料や情報などを良く調べてあり、また的確な質問をしており、良く勉強していることに感心しました。また行政も質問に対し分かりやすく誠意のある回答をしていました。アスベスト問題に対する質問は、複数の議員の方から出されました。その中に祢津小学校の体育館天井に石綿フェルトの張り付けが確認されたそうです。体育館のアスベスト飛散量は、少量ですが現在では、祢津小学校の体育館は、使用禁止になり除去工事を実施する予定になっています。祢津小学校では、運動会の練習も体

育館が使用できず不便な思いをしたと思います。子供達のためには、今は不便な思いをしても20年先30年先に健康でいられる方がもつと幸せだと思っています。市、行政の素早い対応に感謝申し上げます。

競輪の場外車券売場の誘致問題に対する質問は、二名の議員の方から出されました。市では、誘致には、関係しておらず今後の成り行きを見守りたいとの回答でした。いずれにしても後世に汚点を残すようなことは、避けなければならぬ。これが私達大人に課せられた、子どもに対する使命だと思っています。

最後に、この二つの議題を傍聴し感じたことは、東御市議会は、頼れる素晴らしい議会であり、安心して市のことを任せても大丈夫だと感じたのは、私だけではないと思います。



あとがき

「当たったよ、あなたが私の宝くじ」——ある雑誌の投稿文の中で見た一言である。

何回も読み返してみた。次第に口から心の中へ響き入るものを感じた。

夫が妻に、妻が夫に、親が子に、子が親に、姑(あまり好きな字じゃないネ)が嫁に、嫁が姑に——そして仲間同志が、本音で——この一言が言えたらなあ。市づくりは人づくりという。その人づくりは心づくりでもあるろう。

明るい東御市づくりは、お互いの心づくりに鍵が秘められているように思えてならない。議会だよりもその一助になればなあと思う次第である。お互いに、良さを出し合ってまいりましょう。

(石川)

広報委員

山岸 淳子 長越 修一
依田 俊良 石川 好一
柳澤 旨賢 堀 高明